

傷だらけの栄光 (1956)

SOMEBODY UP THERE LIKES ME

メディア 映画
ジャンル ドラマ スポーツ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 113分
初公開日 1956/12/15
公開情報 MGM
リバイバル 1963/ [東和]

【解説】

ニューヨークの下町に生まれ育ったロッキー・グラジアノが、不良時代（映画デビューのマックイーンも顔を見せる）、軍隊時代を経てプロボクサーとなり、やがて世界チャンピオンとなるまでを描く。ボクシングを始めるまでの前半部のテンポの良さもさることながら、後半部でのダイナミックな拳闘シーンは圧倒的で、R・ワイズの演出はロッキーの半生をスピーディに、しかし丹念に紡いでいる。映画に出始めてまだ間もないP・ニューマンに抜群の存在感があり、これが“実質上”のデビュー作（「銀の盃」の事は忘れて）と考えてよいだろう。伝記映画などという言葉だけでは括りきれない傑作。アカデミー撮影・美術賞受賞。ペリー・コモの唄う同名主題歌も良い。

【クレジット】

監督	ロバート・ワイズ	Robert Wise
製作	チャールズ・シュニー	Charles Schnee
原作	ロッキー・グラジアノ	Rocky Graziano
	ローランド・バーバー	Rowland Barber
脚本	アーネスト・レーマン	Ernest Lehman
撮影	ジョセフ・ルッテンバーグ	Joseph Ruttenberg
音楽	ブロンイスラウ・ケイパー	Bronislau Kaper
出演	ポール・ニューマン	Paul Newman
	ピア・アンジェリ	Pier Angeli
	サル・ミネオ	Sal Mineo
	アイリーン・ヘッカー	Eileen Heckart
	ジャドソン・プラット	Judson Pratt
	ハロルド・J・ストーン	Harold J. Stone
	エヴェレット・スローン	Everett Sloane
	ロバート・ロジア	Robert Loggia
	スティーヴ・マックイーン	Steve McQueen
	アンジェラ・カートライト	Angela Cartwright
	パティ・デューク	Patty Duke